

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人湖東会	代表者	理事長 柏瀬孝一	法人・事業所の特徴	『住み慣れた地域の中で人としての尊厳を持ち、自らの意思と行動に基づき、幸せな人生をお送りいただけるように』という法人の理念に基づき、心をこめたサービス提供を心がけている。事業所は自然に囲まれた静かな環境にあり、窓が大きく明るく開放的な雰囲気の中でゆったりと過ごしていただける。利用者や家族の希望に即応できるよう努め、自立した在宅生活が継続できるよう支援している。
事業所名	白寿荘小規模多機能ホーム さくらの里	管理者	岩井加代子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	6人	0人	1人	0人	0人	1人	2人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員全員で自己評価に取り組み、サービスの向上に努める。 自己評価について職員間での共通理解に努め、できる限り同じ尺度で評価できるようにする。	職員全員で自己評価に取り組んだ。 できているところとできていないところをもう少し明確にした方がよかった。	できているところとできていないところを詳しく記載したほうがよい。	職員全員で自己評価に取り組み、サービスの向上に努める。 自己評価について職員間での共通理解に努め、できる限り同じ尺度で評価できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	看板を見やすくする工夫について検討する。 事業所の清潔を保ち、心地よく過ごしてもらええる環境を維持する	看板については新しく設置することでわかりやすくした。 利用者が心地よく過ごせるよう清潔な環境を維持できた。	明るく居心地がよいと感じた。	利用者が心地よく過ごせる清潔な環境を心がける。
C. 事業所と地域のかかわり	広報誌の発行回数を増やす。 事業所のよいところを地域の方に理解してもらええるような内容を検討し、地域に回覧する。	広報誌の発行はできているが、発行回数を増やすことができていない。	広報誌の発行回数は増えていないように思われる。	広報誌を発行し、地域の方に事業所の取り組みについて知ってもらおう。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域内外の行事によって、地域の方と交流する機会を持つ。 地域における事業所役割を明確にし、そのことを広く知ってもらええる方法を検討する。	文化祭などの地域の参加している。	文化祭には参加できている。	地域に出かける機会を持つ。 事業所を知ってもらい、地域における事業所の役割を考える。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議のあり方を再考する。 地域の心配な方についての事例検討を行う。	地域の心配な方についての事例検討について手の意見は出なかった。	地域の心配な方の事例検討や相談は必要ではないか。	地域の状況を知り、心配な方に対してできることはないか検討する。

F. 事業所の 防災・災害対策	避難訓練を定期的 に実施する。 防災計画の内容 について見直し 検討する。	運営推進会議の メンバーに参加 していただき、 防災についての 行事を実施でき た。	防災計画につい ての報告を受け ていない。 防災訓練への住 民参加について 実施することは 必要。	防災計画を見直 し、運営推進会 議で報告する。 避難訓練を実施 し、地域の方や 家族にも参加を 呼び掛ける。
--------------------	---	---	---	--